

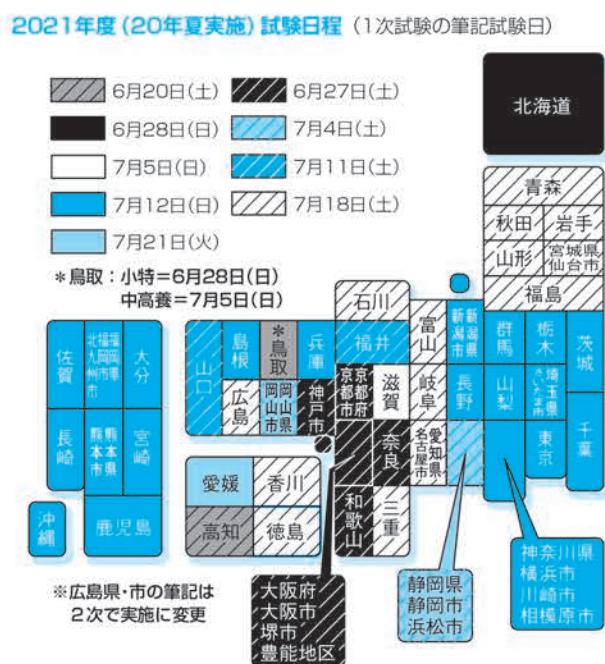
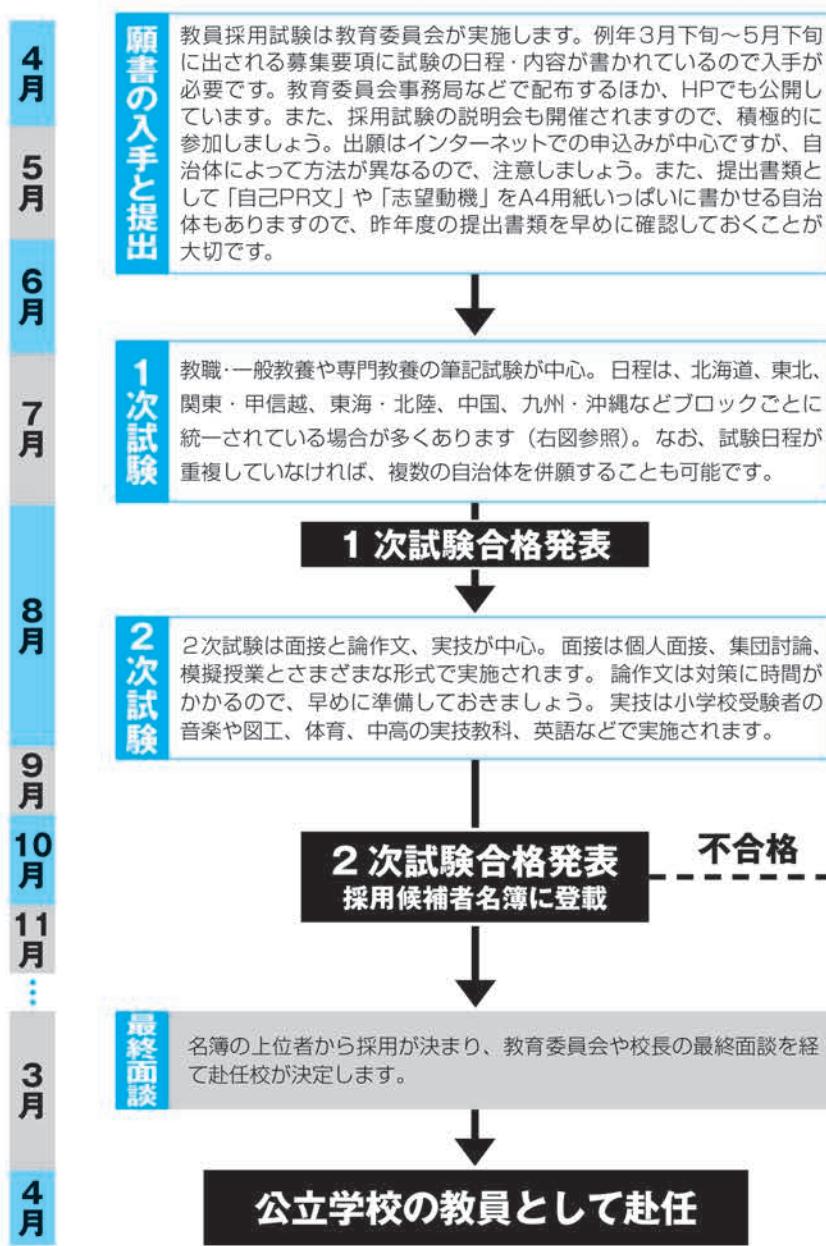
教員採用試験ガイダンス 2021

教員採用試験に合格するには、試験の仕組みと内容を理解し、効率良く学習を進める必要があります。「教員採用試験ガイドンス2021」には、筆記・論作文・面接試験の出題傾向や最新の試験内容をはじめ、採用動向など合格に必要な試験情報が満載。今後の学習プラン構築にご活用ください。



1 試験の流れと内容一覧

公立学校の教員になるには、都道府県・政令指定都市が実施する教員採用試験に合格しなければなりません。例年、6月下旬～7月下旬に1次試験、8月上旬～9月下旬に2次試験が実施され、10月下旬までには最終合格が発表されます。なお、自治体ごとに試験日程・内容が異なりますので、志望する自治体の情報をしっかりと確認することが大切です。



◆臨時的任用教員と非常勤講師◆

病気・けがによる休職、産前産後休暇、育児休業などで年度途中に正規教員に欠員が生じた場合、「臨時の任用教員（常勤講師）」もしくは「非常勤講師」がその代替として一定期間、学校に勤務します。臨時の任用教員の場合、勤務時間や業務は正規教員とほぼ同じで、待遇は正規教員に準じる場合が多いのですが、任用期間は年度内に限られます。非常勤講師の場合、勤務は担当する授業のみで、待遇は時間給であり、アルバイトのような身分です。

